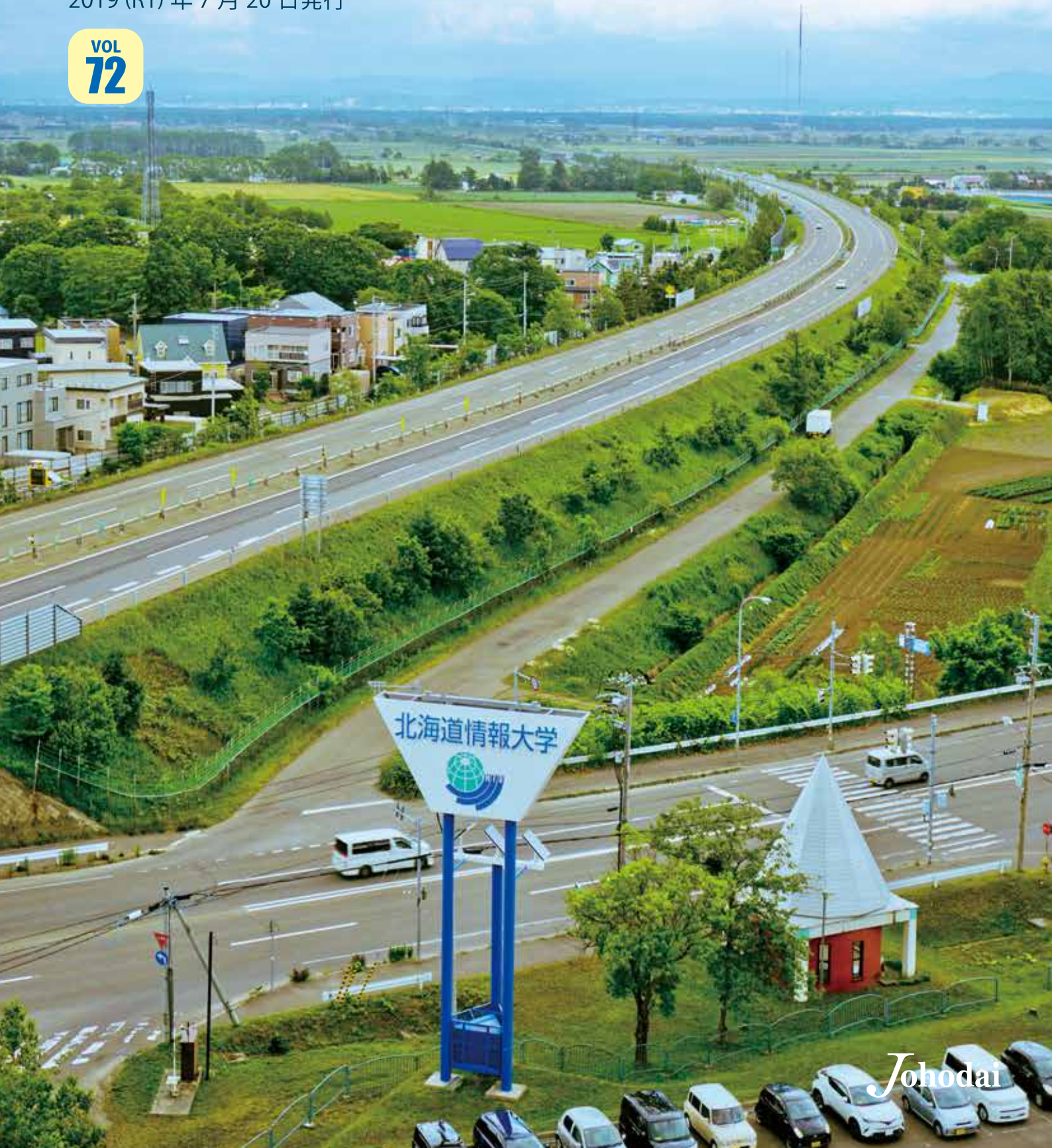


# 北海道情報大学広報誌

# となかまど

2019 (R1) 年 7 月 20 日発行

VOL  
**72**



Johodai

# 北海道情報大学広報誌 となかまど

2019 (R1) 年 7 月 20 日

## CONTENTS — もくじ

# VOL. 72

01	表紙
02	目次 北海道情報大学紀要 30-2
03	建学の理念・使命・教育目的
04-05	座談会「学長に何でも聞いてちょう」Vol.9
06-07	キャンパスだより
08	平成30年度 学位記授与式
09	卒業祝賀会
10	平成31年度 入学式
11-12	宿泊研修
13	プロジェクト・トライアルII 表彰式
14-16	新任教員の紹介コーナー 情報メディア学科 中里 浩介 講師 情報メディア学科 伊藤 正彦 准教授 システム情報学科 越野 一博 准教授
17	ワンコイン朝食
18	保護者の会役員会・大学院情報
19	サークル紹介 アコースティックギター同好会
20-21	ゼミ紹介 システム情報学科 棚橋ゼミ 先端経営学科 松本ゼミ 情報メディア学科 森川ゼミ 医療情報学科 松田ゼミ
22	えべつ未来学生コンペティション・メディアデザイン展
23	同窓会交流会
24	先生の裏の顔 酒井 雅裕 先生
25-26	写真部撮影写真
27-29	学校法人 電子開発学園 平成30年度決算の概要
30	大学主要行事など(2019年2月1日~6月30日)
31	令和元年度 HIU カレンダー
32	編集隊 編集後記

## 北海道情報大学 紀要 30-2

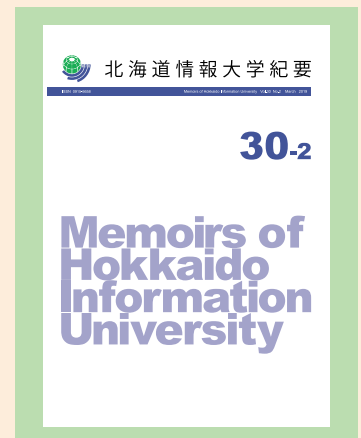
北海道情報大学紀要 (Memoirs of Hokkaido Information University) は、北海道情報大学が年 2 回定期的に刊行する学術誌です。これは、本学における教育研究活動の成果を学内外に広く公表することを目的としており、論文の他、解説、研究ノート、制作ノート、資料、報告などを掲載しています。本学のホームページにて公開しておりますので、内容をご覧になりたい場合は、右記の URL または QR コードをご利用ください。

### 《 論 文 》

- 「総合的な探究の時間」における高大連携プログラムの開発 (1) - 高等学校における教育現場の実態調査から -  
五浦 哲也 椿 達
- オプティカルフローとテクスチャ内の画像特徴量に基づく架空送電線領域検出  
藤原 孝幸
- 横旋回中のブレ映像からの画像特徴量検出  
藤原 孝幸
- プログラミングに対する自信と諸要因の因果関係のベイジアンネットワークを用いた検証  
宮西 和機 齋藤 健司

### 《 報 告 》

- 商法上の商号専有権に関する一考察  
関根 洋



[https://www.do-johodai.ac.jp/kiyou/kiyou\\_30\\_2.html](https://www.do-johodai.ac.jp/kiyou/kiyou_30_2.html)

# 建学の理念・使命・教育目的



## 建学の理念

「情報化社会の新しい大学と学問の創造」

北海道情報大学は、平成元年に我が国の情報化社会の黎明期に情報教育の新しい扉を拓いた、学園創立者松尾三郎博士によって、「情報化社会の新しい大学と学問の創造」を建学の理念として開学した大学です。

## 本学の使命・目標

IT社会の到来を告げる国際情報化の幕開けに先駆け、「情報」を大学名に取り入れて開学した北海道情報大学は、「産学協同の精神の下、豊かな国際性、創造力ある人間性を涵養し、実学に裏付けられた実践的な専門教育を通して、我が国の国際情報通信社会の進展に貢献する高度情報通信技術者を育成すること」を使命としています。

本学は、北海道開拓のシンボル・野幌原生林の豊かな自然につつまれたキャンパスを研究・教育の創造的なふれあいの場として、あるいは先端的な通信教育により全国に展開されている学びの場において、「情報」を核にその応用範囲を広げていく「情報の総合大学」としてIT社会の発展に寄与するために、以下のような機能を果たすことを目標としています。

- ・情報を核とする高度な専門職業人養成機能
- ・国際性と豊かな人間性を育む教養教育機能
- ・情報に関わる通信教育の拠点機能
- ・地域貢献・産学連携機能

## 教育目的

21世紀において、われわれを取り巻くすべての社会構造は今やIT抜きでは成り立ちません。このような状況に鑑み、本学の教育では、明日の高度情報通信社会の担い手にふさわしい情報技術と知識、およびそれを支える幅広い教養と各種専門分野にまたがる知識の習得に裏打ちされた高度IT技術者を育成することを目標に掲げています。また、国際情報化に適応できる国際性豊かな人材、情報に付加価値を生み出す幅広い教養、感受性、モラル、コミュニケーション能力を備えた人間力に優れた人材を育成することを目指しています。

- ・生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力を育成する自己啓発教育
- ・IT社会に役立つ高度な情報技術と専門知識を身につける実践教育
- ・国際感覚やモラルなど豊かな人間性を養う人格教育
- ・コミュニケーションとプレゼンテーション能力を涵養する自己表現啓発教育
- ・自ら問題を見つけ出し、その解決のために自身で工夫できる問題発見・解決能力育成教育
- ・知識のみではなく生きるための知恵を啓発する全人教育

# 学長になんでも聞いちゃおうVol.9

## 【はじめに】

(学サポ)上部「こんにちは。今日は、学生たちが学長と話したいことやお聞きしたいことをいくつか用意してきたので、学長にお答えいただきたいと思います。よろしくお願いします。」

## 【対談参加者について】

(広報)中道「今回は、積極的に何かを頑張っている学生に集まってもらいました。」  
学長「そうなんだ!皆さんは何を頑張っているのかな?」



小島「私は、中学校の数学の教員免許の取得を目指しています!他の皆さんは何を頑張っていますか?」

吉田「私は、北海道警察のサイバー犯罪ボランティアをやっていて、今年から学生

リーダーを任されています。ボランティアに参加している人たちにむけて年に数回、サイバー犯罪に関する講習会を開き、北海道警察の職員の方と一緒に講話をしています。」

学長「じゃあ、先生をやっているんだね!安井さんは何を頑張っているのかな?」

安井「私は、病院に就職したいと考えているので、それに向けて資格試験の勉強に励んでいます。」

学長「資格ね!そういえば昨日、病院実習報告会があったよね?安井さんは、最初の方に発表して、司会もしていたね」

安井「していました。見に来られていたのですか?」

学長「最初の1時間ぐらい見ていたよ。発表も司会も良かったよ!」

安井「ありがとうございます!」

吉原「私は、4年間で毎年、1つ以上の資格



の取得を目指しています。さらに大学に入学したことをきっかけにサッカー部のマネージャーを始めました。」

学長「毎年!?それはすごい!」

吉原「はい!毎年取得できるように頑張ります!」

安井「私は先ほどお話しした通り、資格試験を控えているのですが、資格を持っていると有利になりますか?」

学長「病院かい?それとも企業かい?」

安井「どちらもです。」

学長「病院は資格が必須だね。企業は公には資格は必要ないとしていることが多いけど、実際はどんな資格を持っているか把握して、しっかり評価するよ。資格を持っているということは、その資格を取ることのできる能力はあるという証明になるからね。」

安井「ありがとうございます!資格取得頑張ります!」

小島「今、どんな資格取ろうとしていますか?」

安井「7月は診療報酬請求事務能力認定試験、8月は医療情報技師能力検定、2月は最終目標の診療情報管理士があります。」



第9回目の「学長に何でも聞いちゃおう!」のコーナー。5/31(金)に学長室で、学生4人が学長と対談をしました。学生たちは、かなり緊張した様子でしたが、楽しく充実した時間となりました。

小島「すごい…大変そう…。」

安井「大変ですが、たくさん勉強します!」

#### 【今後の学習環境について】

小島「昨年度まではiPadを貸し出していますが、今年度からノートパソコンを貸し出すことにしたと思いますが何か考えがあったのですか?」

学長「経営情報学部だけノートパソコンに替えたんだけど、ノートパソコンの方が使い勝手がいいね。それとiPadよりは処理性能が速い、そういったところが1番大きいかな。」



小島「それでは、今後ノートパソコンを貸し出すことになっていくのですか?」

学長「経営情報はそうなるかな。今、実習室にぎっしり授業が入っているけど、ノートパソコンがあれば普通の講義室でも授業を行えるよね。これから他の学科もノートパソコンになる可能性はある。ただiPadもいろいろ良い点があるから、どうするかこれから検討だね。」

小島「そうなんですね。ありがとうございます。」

#### 【インターンについて】

吉田「私たち3年生は、今年からインターンシップが始まるのですが、インターンシップ先を選ぶときに何か重要視するべきことはありますか?」

学長「インターンシップは長い期間行っている企業がいいかな。1,2週間かけて、その企業が実際にやっていることを体験して、どんな仕事をしているかがわかる。だから自分で選ぶときはその企業で何ができるかよく調べて、そして期間の長い企業がいい。短いものは会社説明だと割り切っていくといいかな。」

吉田「はい!参考にします!」

吉原「私は進路が具体的に決まっていないのですが、学長はどんなことを基準に職業を選びましたか?」

学長「難しい質問だね。一昔前は、安定した職が好まれていた。最近は、面白そうなことをやっている、自分のやりたいことができる会社を選ぶ傾向が強い、だからどちらを選ぶかは吉原さん次第だよ。」

吉原「難しいですね…。」

#### 【学長のお仕事について】

小島「普段、学生と話すことはないですか?」

学長「あまりないね。」

安井「学長は普段どんなお仕事をされていますか?」



学長「一番重要な仕事は大学をどうやって運営していくかだね。たくさんの学生に入学して卒業してもらいたいし、今在籍している学生に充実したキャンパスライフを送ってもらうにはどうしたら良



いか考えているよ。あとは先生方にも悩みがあるから相談にのるよ。」

学生「へえ〜」

小島「忙しいですね…。」

安井「忙しい…。」

小島「自分の時間はありますか?」

学長「あるよ。」

小島「よかったです!健康でいてほしいです!」

一同笑い。

#### 【お話を終えて】

和やかな雰囲気です学長との対談は終了しました。この対談をきっかけに学生たちの更なる活躍を願っています。

#### 今回参加した学生

情報メディア学科 3年 吉田 雄一郎

システム情報学科 3年 小島 秀平

医療情報メディア 3年 安井 知未

先端経営学科 2年 吉原 七海

(撮影：岸竜之介 阿部美里)

# キャンパスだより

北海道情報大学の Facebook ページの記事等から、本学のニュースをご紹介します。

## 【子ども向けプログラミングイベントの開催】

(1月19日投稿記事)

1月15日(火)、小学4年～6年を対象に、Excelを使った第1回子ども向けプログラミングイベントを開催しました。

これは、経営情報学部・先端経営学科の大学生が小学校高学年の子どもたちにプログラミングを教えるという企画です。

子どもたちは、休憩時間になっても夢中で作業を続けていて、大学生も

びっくり！な集中力でした。終わった後、子どもたちが笑顔で「楽しかった～!!!」と言ってきて、大学生たちも喜んでいました。

※第1回が大好評だったため、2月17日(日)に、第2回として「情報大生と楽しく学ぼう！エクセルのドット絵プログラミング(入門編)」を開催し、こちらも大好評となりました。



## 【ヤンマー学生懸賞論文・入賞】(2月9日投稿記事)

松本ゼミ4年生の4人(荒木洋佑くん、石戸谷大輝くん、磯田泰輝くん、藤嶋俊希くん)の書いた論文が、このたび、ヤンマー学生懸賞論文・優秀賞に輝きました。

テーマは、『北海道産じゃがいもの付加価値向上策～雪下・雪室じゃがいもを事例として～』です。

このテーマのきっかけは、3年生のときに、美唄でのゼミ合宿でホワイトデータセンター実証実験施設などを見学させていただき、自然エネルギー(雪氷冷熱)に興味を持ったことでした。農場経営者へのインタビューや生産者と消費者のアンケート調査をした力作となっています。



## 【MCC 教育フォーラム 石狩市の実践に学ぶ！小学校プログラミング教育の具体例】

本学のメディアクリエイティブセンター（MCC）の企画で、江別市の小学校教員を対象に、プログラミング教育をテーマにしたフォーラムを開催しました。

（株）情報通信研究所の平井聡一郎氏とさくらインターネット（株）の朝倉恵氏にご登壇いただき、全国での取り組みや、石狩市の教育実践について、具体的にご説明いただきました。

江別市が先進的な教育都市になるといいですね。



## 【卒業生が自主映画で全国選手権で準優勝！】

（4月3日投稿記事）

情報メディア学部 15 期生・渡邊健太郎くん（平成 31 年 3 月卒業／島田ゼミ）



が、平成 31 年 3 月 31 日に東京で行われた第 14 回全国自主怪獣映画選手権に入選し、みごと準優勝に輝きました！

全国自主怪獣映画選手権は、映画監督・特技監督の田口清隆（ウルトラマン X、ウルトラマンオーブ他）が主催で行う、全国規模の自主怪獣映画の大会です。

渡邊くんは、平成 30 年度の卒業研

究で怪獣映画を制作し、学内の卒業研究発表会・映像セッション部門で最優秀賞を受賞しました。その後少し手を加えた最新版を第 14 回全国自主怪獣映画選手権に応募し、今回の結果となりました。

渡邊くんはこの 4 月から映画の関連会社に就職が決まっており、社会人なりに最高の成果となりました。今後の活躍が楽しみです。



# 平成30年度 学位記授与式 挙行



平成31年3月14日(木)10時から、  
 本学松尾記念館講堂において、平成  
 30年度北海道情報大学学位記授与式  
 を挙行了しました。

経営情報学部は第27回、医療情報  
 学部は第3回、情報メディア学部は第  
 15回、通信教育部は第22回、大学院  
 は第22回となる合同で行われた学位  
 記授与式の模様は、会場に設置された  
 テレビカメラにより、保護者室の211  
 教室や全国の各教育センターにも同時  
 中継されました。

気のなか行われ、特に賞状授与では、  
 参加者全員が拍手をするなど、祝福  
 ムードいっぱいに包まれていました。

式終了後には、卒業アルバムに掲載  
 する卒業記念写真の撮影を行い、その  
 後、学科等別の学位記授与、体育館で  
 の卒業祝賀会と続けました。学位記を  
 手にした卒業生・修了生たちは、大学  
 との別れを惜しんでいました。



式は、厳粛なうちにも和やかな雰囲気



- 式  
次  
第
- 一 修礼
  - 一 開式の辞
  - 一 学位記授与
  - 一 学長告辞
  - 一 理事長祝辞
  - 一 祝辞・祝電披露
  - 一 賞状授与
  - 一 卒業生・修了生答辞
  - 一 閉式の辞
  - 一 修礼



# 卒業祝賀会



平成31年3月14日(木)平成30年度学位記授与式の後、本学体育館において、平成30年度北海道情報大学卒業生、修了生祝賀会が行なわれました。会のはじめには澤井学長から挨拶をいただき、続いて同窓会の木下事務長からお祝いの言葉が伝えられ、西平副学長の音頭で乾杯しました。

祝賀会には、卒業生と教職員の他、卒業生の保護者のみなさん、先輩を見送る下級生も数多く参加。それぞれに

テーブルを囲み、和やかに祝賀会はスタートしました。

会場は立食形式で、様々な飲み物、食べ物をいただきながら、思い思いの場所で思い出話に花を咲かせたり、友達と別れを惜しんだり、お世話になった先生と語り合っていました。

また、各学部ごとの代表の学生がそれぞれ毎年恒例の挨拶を行いました。代表の学生は、大学や先生方、職員の方々への感謝の気持ちを述べており、

会場は終始お祝いムードに包まれていました。

卒業生は華やかな袴姿やスーツ姿に身を包み、卒業式最後のイベントを鮮やかに彩っていました。

卒業生、修了生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。卒業したあとも、いつでも大学に遊びに来てくださいね。(編集部)



# 入学式

平成 31 年度

## 入学式 挙行

平成 31 年 4 月 5 日（金）午前 10 時から、本学松尾記念館講堂において、平成 31 年度北海道情報大学入学式を挙行しました。

式の模様は、式場に設置されたテレビカメラにより、保護者室（212 教室、213 教室）と全国にある通信教育部の各教育センターにも生中継され、多くの保護者や教職員に見守られる中、約 1,076 名の新入生が、情報大学生としてスタートしました。

会場内の保護者席は、座席数の関係もあり多くは用意できませんでしたが、厳粛なうちにも和やかな雰囲気の中行われました。式の中では、入学生代表として犬飼くるみさん（情報メディア学科）が、これからの学生生活の抱負について宣誓しました。

式終了後には、入学生と保護者に対して、建学の理念、及び本学の開学に至った経緯等について知っていただくためのビデオ上映を行い、その後は、学科ごとに分かれて場所を教室に移し、入学生・保護者・クラス担任の顔合わせを兼ねた学科別等ミーティングが行われました。

（総務課）

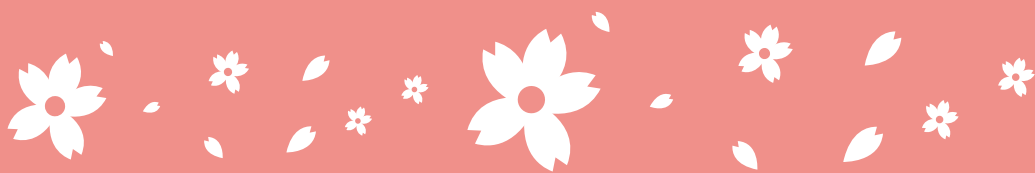


入学生代表の犬飼くるみさん（情報メディア学科）

### 式次第

- 一 修礼
- 一 開式の辞
- 一 入学生代表の言葉（宣誓）
- 一 教員紹介
- 一 祝辞・祝電披露
- 一 理事長祝辞
- 一 学長告辞
- 一 開式の辞
- 一 修礼





## 【新入生の宿泊研修】

新学期が始まりました。

4/10,11 は、新入生全員とクラス担任など約 500 名が定山溪温泉のホテルで1泊2日の宿泊研修を行いました。

クラス毎のミーティングや全体集会、先輩のよろず相談コーナーなどを通じて、早く友達を作ってもらい、大学生活を楽しんでもらうことを目的に、この時期に毎年開催しています。

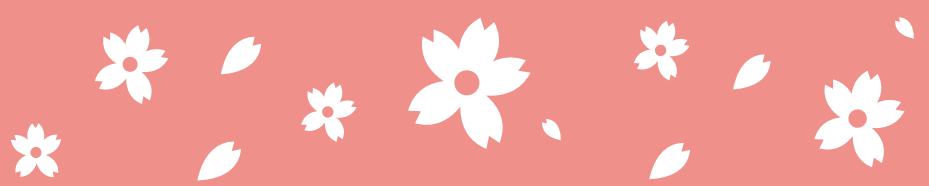
チームビルディングを目的とした謎解きゲームは本学教員（ゲーム研究者）のオリジナルでかなり本格的。みんな夢中になって楽しんでいました。

みんなで楽しいキャンパスライフを送ろうね。



クラスミーティングの様子





先輩よろず相談



謎解きゲーム



食事風景



全体会

# プロジェクト・トライアルII 表彰式



## 最優秀賞

チーム ほげほげ  
「Claris」

6月7日(金)に、プロジェクト・トライアルIIの表彰式が行われました。この講義では3～4名のチームを組み、プロジェクトの企画から制作を学生自身で行います。その中で、プロジェクト管理やチームワークを学びます。Webサイト、ゲーム、映像、メディアアートなど数々の素晴らしい作品の中から各賞が発表されました。

見事、最優秀賞に選出されたのは、チームほげほげが制作した『Claris』。

『Claris』とは、北海道情報大学で活動するサークルの情報を集約するWebサービスで、今後も運営していく予定とのことです。

その他にも優秀賞、奨励賞、学生賞も発表され、半年以上に及んだプロジェクトは各チーム笑顔で幕を閉じました。

## 優秀賞



チーム名称未設定  
参加型メディアアート 『Pinch』



チーム誤字ら～ず。  
ノベルゲーム  
『記憶の欠片は始まりの赤』

## 奨励賞

チーム TASK  
探索型ノベルゲーム『桐原高校探偵部』

チームおさつぐみ  
映像作品『鬼ごっこ法』

チーム GF 女子 C  
カードゲーム『それでイイワケ?』

## 学生賞

### W受賞!

チーム誤字ら～ず。  
ノベルゲーム  
『記憶の欠片は始まりの赤』

# 新任の先生紹介



## 知識と共に心技体を鍛えよう

情報メディア学部 情報メディア学科 講師 中里 浩介

### 先生の学内プロフィール

#### 研究分野

スポーツバイオメカニクス

#### 担当する授業

健康とスポーツ  
ビギナーズセミナー  
ヘルスリテラシー  
キャリアデザイン

223 研究室

本年4月から情報メディア学部に着任いたしました中里浩介です。どうぞよろしくお願いいたします。

小学・中学ではサッカーに明け暮れ、高校ではテニス部に所属していましたが、叔父がスキーのインストラクターということもあり、その頃からスキーをやりたいと思っていました。そして大学へ進学したことを機に4年間スキーに没頭します。年間の滑走日数は100日を超えていました。学生大会では1年生の部で全国大会で入賞したこともあります。「どうしたらうまく滑れるようになるのか？」この問いが、私が研究を志したきっかけでした。

大学院博士課程前期は出身大学の大学院へと進学し、動作分析の観点から、上級者と中級者の滑走フォームの違いを分析しました。

その後、博士課程後期ではヨーロッパのオーストリアへと留学し、スキーとスキーヤーの間に働く力の研究をし、博士号を取得しました。

オーストリアから帰国後に就職

したのが国立スポーツ科学センターというところでした。ここではオリンピックなどの国際大会で良い成績を収めるために医科学サポートを行う機関です。国立スポーツ科学センターを利用できる選手は国の代表選手だけであり、中には世界的にすでに活躍している選手もいましたが、そんな選手をより強くすることが求められる職場でした。私は数ある種目の中でも、これまでの研究を活かし雪上で行われる冬季種目のサポートを行っていました。選手の体力測定や、動作分析やレース分析をはじめ、GNSSシステムを頭に装着して滑走してもらい、滑走軌跡や滑走速度をフィードバックするなどしていました。

国立スポーツ科学センターに続き、青森県スポーツ科学センターでも仕事をしました。これまで同様の医科学サポートを、高校生の部活動の競技力向上のために行ってきました。先日もサポートしていた学校のアーチェリー部が男女ともに県総体で優勝し、インターハイ出場が決まったとの連絡がありました。このような報告を受け

るとサポートしてよかったなと実感します。

スポーツの競技力向上に関わる研究や活動をこれまで主に行ってきたが、こうした経験を多くの学生に還元することが、本学における自分の役割だと思っています。スポーツのパフォーマンスは心技体といわれるように、技術だけではありません。みなさんがこれからも健康な人生が過ごせるように、心技体を鍛えてもらいたいと思いますし、そのお手伝いをしたいと思います。

社会に出ると運動をする機会がぐっと減ります。私の趣味はスキーとクライミングですが平日はなかなか時間が作れません。時間を見つけてはジョギングやロードバイク・筋力トレーニングなどで身体を動かしています。休日には自然の岩を登るロッククライミングに出かけますが、自然の中になると心がリフレッシュしますよね。私の研究や趣味には自然が必須です。ぜひみんなで自然を守っていきましょう。そして一緒に体を動かし健康に生きましょう！



情報メディア学部 情報メディア学科 准教授 伊藤 正彦

## 先生の学内プロフィール

### 研究分野

情報可視化、ユーザインタフェース、データ工学

### 担当する授業

プログラミング演習Ⅰ  
プログラミング演習Ⅱ  
初修情報メディア学Ⅰ  
情報メディアパスポート  
キャリアデザインⅢ、ゼミナールⅠ

325 研究室

皆様初めまして、4月に情報メディア学部へ赴任した伊藤正彦です。よろしくお願いいたします。札幌生まれの札幌育ちで、この度10年ぶりに地元北海道に帰ってきました。東京では下北沢餃子の王将徒歩1分のところで暮らしていましたが、現在、新札幌餃子の王将徒歩5分のところで暮らしています。私の肉体の数パーセントは王将の餃子でできているといっても過言ではありません。趣味は合唱とクラフトビール飲み歩きです。

高校生のころ、大学に行ったら工学部に進もうと漠然と考えていたのですが、専門を選ばなければならぬころ、テレビでその後自分の恩師になる北大の田中譲先生の研究が紹介されている番組を見て情報の世界に進もうと決めました。そして、研究室に入ってから情報可視化の研究と出会い没頭していきました。

大学院卒業後は、地元のビー・ユー・ジーという会社に入り新聞社向け画像データベース・画像処理・編集管理システムの開発をし

ていました。この時代に身につけた技術力などが現在でも自分の仕事の基盤になっている気がします。

その後、出身研究室に戻り博士号をとり、1年半ほど博士研究員をした後、東大の喜連川・豊田研究室の助教として赴任しビッグデータ可視化の研究に取り組むことになりました。そこは日本の情報系の研究室としてはおそらく最も大規模な研究室で、文字通り寝食を忘れて仕事をしていました。嘘です。飲みには行っていました。王将にも通っていました。それはともかく、ここで日本や世界を代表する多くの研究者の方々を知り合い、一緒に飲みに行き仲良くなり、自分の財産となる関係を築くことができました。

自分が研究として取り組んでいる情報可視化とは、大量のデータを視覚的に表現し、そこから何か面白い事象や新しい事象を探索・発見し、見つけた事象を視覚的に人に説明できるようにする、といった目的を実現するための技術のことです。その中で新しい表現手法や新しい分析手法を考え実現するという研究に長年取り組んでいます。今は、まさしくデータの時代

といってもよく、大量のデータから人間が理解できる形で情報を抽出し提示する情報可視化の技術はますます必要不可欠なものになっていくと考えています。情報可視化の研究は様々な領域にかかわることができる研究で、色々なことに興味を持つ人たちと一緒に取り組めるように進めていきたいですし、声をかけていただければと思います。

情報系の研究の楽しいところは、比較的容易に自分の自由なアイデアを実際に動くものとして実現し、人を驚かせたり、喜ばせたりすることができるというところにあります。本学には、これに挑戦できる環境が整っていると思います。学生の皆さんにもこの面白さの一端に少しでも触れてほしいし体験してほしいです。そのために自分が教員としてできることを精一杯考えていきたいです。今は新しい研究分野としてAR/VRの技術を用いた没入的分析可視化技術と点群データの収集・可視化に興味を持っています。そのためのデバイス群も少しずつそろえていきますので、興味のある学生は、是非325研究室まで遊びに来てください。

# 新任の先生紹介



## コンピュータ=楽しく楽をさせてくれるツール

経営情報学部 システム情報学科 准教授 越野 一博

### 先生の学内プロフィール

#### 研究分野

医用画像工学

#### 担当する授業

人工知能、データマイニング  
システム開発基礎Ⅰ  
ゼミナールⅠ・Ⅱ  
情報専門演習

303 研究室

読んでいただいている方々、はじめまして。2019年4月に経営情報学部 システム情報学科 准教授職を拝命した越野一博です。

前職は、大阪にある国立循環器病研究センターで、画像診断に関する研究を行っていました。扱うモダリティは、CT（コンピュータ断層撮影）、MRI（磁気共鳴画像法）、PET（陽電子断層撮影）、SPECT（単一光子断層撮影）でした。

特に注力していたのは、PETとSPECTによる画像診断です。これらのモダリティでは血流や酸素代謝、糖代謝などの生理機能を数値化・画像化できます。例えば、脳の検査で、虚血や梗塞の場所や程度を客観的に把握し、治療や経過観察に役立てることが出来ます。

よりよい診断方法の提供を目的として、薬物動態解析に基づく生理機能推定精度の向上、検査を受けている人の動きや呼吸によって画像に生じる誤差の補正、検査の短時間化・簡便化（精度を落とさずに）、機械学習による画像のノイズ除去、臓器領域の抽出や病変の

検出に取り組んできました。

前職では研究のためのプログラミングの他に、部署のサーバーの保守や簡単な修理もしていました。

しかし、大学4年生になるまで、コンピュータを使うこと、特にプログラミングは非常に苦手でした。

コンピュータに興味を持つきっかけは、原子核物理学の研究室で放射線検出器のシミュレーションに取り組んだことでした。プログラムを書けばコンピュータ上で放射線と物質との相互作用が再現できること、シミュレーションの予想が実験結果と一致することを体験しているうちに、コンピュータを使う研究をもっとしたくなり、博士課程からは分野を情報工学へ変えました。医用画像のデータ圧縮やレーザー顕微鏡画像のノイズ除去・形状復元が研究テーマでした。

今後は、これまで行ってきた「医療と機械学習・深層学習」の研究を中心にしつつ、研究対象をさまざまな種類のデータに広げていきたいと思っています。特に教育分野で

の学習支援や、北海道で盛んな農業・牧畜業での生産性向上や少子高齢化による人手不足の解決に貢献したい、と考えています。

大学教員として新人のため、授業やゼミナールでの準備、進め方を試行錯誤し、改善する、というプロセスを繰り返す日々です。もっと詳しく理解したい、自分もプログラムを書いて試してみたい、と思わせるネタを提供し、座学+プログラミング技術の両輪で情報を扱える学生さんを育てたいと思います。

プログラムを書いて、先人や自分が考えた手法を適用した結果の画像を見るのは楽しく、大量のデータを黙々と計算してくれるコンピュータは自分が楽をするための素晴らしいツールだと思います。

北海道の道東出身ですが、大阪に16年いたせいで、寒さに弱くなりました。健康に気をつけながら、久しぶりの北海道生活を楽しみたいと思います。



# 春の食生活改善運動 (100円朝食)が実施されました



江別市に所在する4大学（本学、酪農学園大学、札幌学院大学、北翔大学）の共同企画「食生活改善運動 100円朝食」が5月29日から31日まで行われました。

この運動も、今回で24回目（平成20年度から春・秋に実施）を迎えました。朝食は、心身共に健康な学生生活を送るための基礎になります。

しかし、親元から離れて生活していると、だんだん健全な食生活から離れ、朝食をとらないことで生活リズムが乱れたり、不規則な食生活が原因で体調を崩してしまうケースも見受けられます。学生にきちんと朝食をとる習慣づけができればと100円でこの運動を実施しています。

## ~MENU~



### 5月29日（和食メニュー）

鮭の塩焼き（大根おろし添え）  
ほうれん草の胡麻和え  
もち巾着と里芋の煮物  
厚焼玉子  
紅葉まんじゅう  
ご飯  
味噌汁  
牛乳 or オレンジジュース



### 5月30日（洋食メニュー）

チキンチーズピカタトマトソース  
(付合せ:キャベツスロー、キュウリ、トマト)  
ジャーマンポテト  
ハムのマリネ  
ヨーグルト  
コンソメスープ  
ご飯  
牛乳 or オレンジジュース



### 5月31日（中華メニュー）

鶏唐揚油淋鶏ソース  
(付合せ:キャベツスロー、キュウリ、トマト)  
麻婆茄子  
ナムル  
杏仁プリン  
中華スープ  
ご飯  
牛乳 or オレンジジュース

# 本学 eDC タワーで保護者の会役員会を実施

今年度第1回目の保護者の会役員会を5月24日（金）に、本学eDCタワー2階カフェレストランにおいて開催しました。

開会にあたり、澤井学長から保護者の会に対するお礼を含めた挨拶と本学の現状等についての説明がありました。その後、1年生の保護者から新規役員5名を選任し、出席者の自己紹介が行われました。

次いで大学からの現況・行事等の報告として、安田就職部長から平成30年度卒業生の就職率及び令和元年度学生の就職に関する心構えについて、上杉学生部長から写真による平成30年度卒業式、平成31年度の入学式と宿泊研修について、橋本学生サポートセンター事務室長から学年暦を元に学内行事について説明がありました。

役員会終了後の懇親会においては、



保護者の会役員の皆様と学生生活・就職活動状況などについて懇談が行われ、ご子弟にかかる期待と愛情のこもった話し合いに、瞬間に時が過ぎ、会を終了しました。役員の皆様には、ご多

忙にもかかわらずご出席いただき、貴重なご意見等をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。

## JpGU2019

### ～日本地球惑星科学連合 2019 年大会～

大学院 システムデザイン分野 修士課程1年 安藤 隆太

令和元年、5月26日から5月30日に幕張メッセで開催されたJpGU2019（日本地球惑星科学連合2019年大会）にて、『気象衛星「ひまわり」を用いた地球環境の探査』というタイトルで口頭発表をさせて頂きました。発表したセッション（情報地球惑星科学と大量データ処理）のメンターである国立研究開発法人情報通信研究機構の村田健史様、指導教員である渡部重十教授、その他関係者の皆様には、深く感謝申

上げます。プロの研究者たちが集まる場で、私自身の研究を発信できたことが、なにより嬉しかったのと貴重な経験になりました。初日が発表日だったため、二日目以降は、さまざまなセッションの発表を聴きに行き、私にとっては夢のような空間でした。

今回の学会経験により、研究に対するモチベーションが更に上がったため、今後の大学院生活に活かしていきたいと考えております。



# サークル紹介 アコースティックギター同好会

こんにちは、北海道情報大学アコースティックギター同好会です。アコースティックギター同好会は 2016 年に発足した新しい音楽サークルです。部員は 3 年生:5 名、2 年生:11 名、1 年生:21 名の計 38 名で活動しています。アコースティックギター同好会は週に 3 回、16:00 ~ 20:00 に講堂で活動しています。

主な活動内容は各自で弾きたい曲を練習する、複数人集まって即興でセッションするなど、自主性を持って活動しています。



この同好会の特色は、音楽を楽しむ者同士が集まったサークルであることです。楽器を演奏したい人、歌を聴くこと、歌うことが好きな人、バンドが好きの人など、それぞれ音楽に熱い思いのある部員が揃っている為、男女、学部、学年問わず部員の仲は良好です。このサークルの部員のほとんどが大学からギターを始めているので、初心者の方にも優しくギターの弾き方をお教えます。弾きたい曲がある、どう弾いたらよいか等、困ったことがあればぜひ相談にきてください。他にもサークルには様々な学部の学生が所属しているので勉強でわからないことがある、資格に関して悩みなどがあれば部員同士、全力でサポートしています。

私達はオープンキャンパスでのサークル紹介、10 月に行われる蒼天祭での LIVE の開催など、学内のイベントに積極的に参加しています。

私たちアコースティックギター同好会にとってこれらのイベントはとても重要で、自分の力を養える場と言えます。ステージ上に立っていざ演奏しようとする、様々なプレッシャーがかかります。しかし、そのプレッシャーを乗り越えて演奏をミスせずに完奏したときの達成感が得られます。楽しんで聴いてもらえただろうか、もっと盛り上げることができたのではないかと考え実践していく。大学生活では得られないような貴重な経験ができるのです。従って、私達は自分達と同時に、演奏を聴いてくれる人達に楽しんでもらえるように日々努力しています。機会があれば是非聴きにきて頂けたら嬉しいです。今年から Twitter でアコースティックギター同好会の公式アカウ

ントを開設しましたので、なにか質問がありましたら、お問い合わせください。お待ちしております。



# ゼミ紹介

## 棚橋ゼミ

経営情報学部 システム情報学科

棚橋ゼミでは「レゴを用いた組込み技術者教育」としてETロボコンの企画・運営に携わりながら毎年ゼミ生が大会に参加することをメインとして活動してきましたが、同時に、レゴを用いた小学生向けの夏休み自由研究教室や、野幌若葉小学校での「総合的な学習の時間」におけるロボット大運動会などを実施する中で、活動の中心を「若年者向けプログラミング教育」へと変更しました。

一昨年度は総務省実証事業を株式会社 LITALICO と共同で実施し、昨年度は上記講座の他、北広島市と苫小牧市からの依頼により小中学校教員向けプログラミング講座を実施しました。プログラミング教育は、2020

年度より小学校で必修化され、2021年度より中学校で拡充され、2022年度より高校共通教科情報科の中でも必修化されます。中学生では現1年生が高校新「情報」の初年度に、小学生では5年生以上が中学新「技術家庭科」の中でプログラミングを学

ぶこととなり、小中ではその準備が待たなしの状況です。

棚橋ゼミでは各学校の実情に則った、「現実的な」プログラミング教育用の教材・カリキュラム開発を通じて、今年も小中学生や教員向けの講座を数多く開いて社会に貢献していきます。



## 松本ゼミ

経営情報学部 先端経営学科



松本ゼミの3年では、毎年、日本経済新聞社主催の株式レポートコンテスト、「日経 STOCK リーグ」に取り組み、「500万円あると仮定して、どんな企業に投資するか」を考えています。今年も、松本ゼミメンバー（片山溪介くん、小坂健太くん、西悠花さん、西谷豊くん）で一つのチームとなり、数ある上場企業の中から、10社～20社を選び

出すため分析 & 調査をしています。他に、日本経済新聞社主催の「円・ドルダービー全国学生対抗戦」にも挑戦中で、今年の6月末、7月末に、1ドル何円になるのかを予想しています。

また、今年3月に卒業した松本ゼミ生（荒木洋佑くん、石戸谷大輝くん、磯田泰輝くん、藤嶋俊希くん）は、共同で「ヤンマー学生懸賞論文」に取り組みました。数回にわたって上土幌町や倶知安町などにある農場に、自分たちで運転して向かい、インタビュー

調査を実施し、大学や町内会の夏祭会場でアンケート調査を行った彼らは、「大学時代の一番の思い出は、論文作成！」と言うほど頑張っていました。その結果、優秀賞に輝くことができ、表彰されました。アンケート調査の際は、教職員の皆様に快くご協力いただきました。心より感謝申し上げます。



## 森川ゼミ

情報メディア学部 情報メディア学科



森川ゼミはゲームを作るゼミです。大学に来た当初はビデオゲームだけを制作していましたが、現在ではカードゲーム・ボードゲーム・謎解きなどのアナログの物や、ゲームに関係するポスター・チラシ・パッケージ・説明書・電子工作・イルミネーション・家具など制作の幅を広げ、年間でビデオゲームを中心に 20～50 作品を生み出しています。



年中になかを作っているゼミですが、制作するゲームは、漠然とではなく手に取ってもらうためにはどうすればいいかを考えて作っています。ゲームは面白いからではなく、面白そうだから手に取ってもらえます。手に取ってもらえるようなゲームにするためには、面白いと思わせるようなグラフィックデザインを考案したり、ユニークなタイトルやキャッチコピーを考えたり、ゲームのルールを短時間で伝えるといった工夫が必要になります。ゲームを面白そうと思わせるの



には知識よりも実際に体験して得た『カンやコツ』が頼りになるのです。

森川ゼミではこの『カンやコツ』を磨くためにコミケ・ゲームマーケット・東京ゲームショウ・デジゲー博・北海道ボドゲ博といった多くの展示会に出展しています。学内でも宿泊研修・ハロウィン・大学祭などで謎解きイベントを企画していますので、機会があればご参加ください。

## 松田ゼミ

医療情報学部 医療情報学科



医療情報学科松田ゼミでは当学科のキーワードである「医療」「情報」に「工学」を加えた 3 つの分野の境界を研究テーマにしています。今年の松田ゼミは医療情報学科所属の 4 年生 3 名と医療情報学科臨床工学専攻の 3 年生

4 名が所属しております。臨床工学の 3 年生は、ゼミナールの授業は有りませんが、臨床実習に向けての準備をすすめており、4 年生は医療機関にある様々な医療機器や情報機器について、「なにか「作る」」ことをテーマに卒

論をすすめています。

ここで最近の研究内容を紹介します。現在心肺停止状態の患者を蘇生させる、心肺蘇生 (CPR) 等の手技には一定の訓練 (練習) が必要です。従来 (現在) は訓練用の専用トレーナー (患者を模擬する人形) を使って訓練を行っていました。現在当研究室では専用のトレーナーという発想から、訓練者の手にセンサーを取り付けて、直接手の動きを評価することにより訓練できるシステムを開発中です。このセンサーはスマートホンやスマートウォッチ等の一般性の高いものを利用しています。

医療機器、福祉機器の開発に興味のある方は是非一度研究室 (316) のドアをたたいてください。

## えべつ未来づくり学生コンペティションの開催

平成 26 年度から江別市役所の呼びかけで江別 4 大学と商工会議所などが連携して、学生ならではの視点でまちづくりのアイデアを提案する「えべつ未来づくりコンペティション」を開催しています。2 月 13 日（水）には札幌学院大学を会場に、エントリーした 4 大学の学生達、全 10 チームが、三好江別市長や 4 大学の学長たちの前で自分たちのアイデアを発表しました。いずれの発表もユニークな視点で熱意

あふれるプレゼンであり、審査員はもとより、来場された地域の方、企業の方からも発表の質の高さに驚きの声を頂きました。本学からは、藤本准教授のゼミ所属の学生達で構成する 2 つのチームが出場し、次の内容のプレゼンを行ないました。

- ・提案 1 「EBRI を中心とした江別観光活性化計画」
- ・提案 2 「安心できるまちづくり～空き家対策から～」

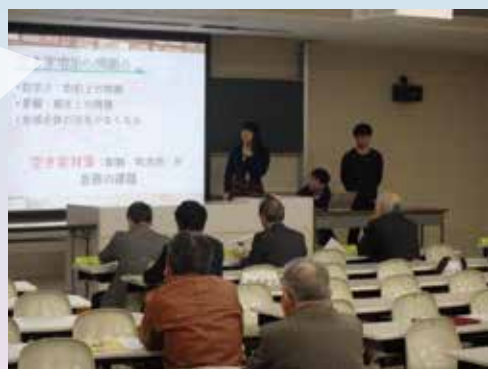
審査の結果、最優秀賞である未来づくり大賞は、北翔大学の「みんなが使う江別バリアフリーマップ」が受賞しました。

今年を受賞は逃したものの、地域の課題を調べ、議論し、提案をまとめ上げて大勢の前で発表するなど、学生にとってもいい学びにつながったと思います。



本学から澤井学長が出席  
三好江別市長が審査委員長

本学学生の  
プレゼン



## メディアデザイン展の開催

2 月 26 日（火）～3 月 3 日（日）に、情報メディア学部の学生たちの作品発表の場として「メディアデザイン展 2018」を、札幌中心部の商業施設のギャラリー（大丸藤井セントラル）にて開催しました。今年で 11 年目になる本

展では、メディアアート、ゲーム、Web、映像、CG、プロジェクションマッピング、ビジネスコンテスト、地域連携事業などの様々なジャンルの学生作品を展示しました。学生主体で運営しており、広報や会場接客などもすべ

て学生たちが、教育の一環で行なっています。

土日には、澤井学長をはじめ、多くの教職員も足を運んでいました。



2月15日（金）に、本学の卒業生が就職した企業と、就職活動を開始したばかりの本学3年生との交流会を開催しました。

交流会には、東京や神奈川、函館、札幌などから19社の企業や地方自治体、病院などに所属している本学OB・OGの卒業生28名が集まってくれました。本学3年生の参加は約100名で、OBやOGが勤めている各企業等の説明を熱心に聞いていました。

なおこのイベントには、北海道情報大学同窓会がOB・OGをお呼びする交通費などで援助をしてくれています。

また、同日の夜には、本学同窓会主催の同窓会交流会を、JR野幌駅前の式場（はやし野幌店）にて開催しました。卒業生に加え教職員や在校生にも広く参加を呼びかけ、全体で80名の参加がありました。

木村篤詩同窓会長（1期生、日本コムシス株式会社勤務）からの「好奇心を持ち続けよう」という挨拶から始まり、在校生たちも自分たちのサークルや活動をプレゼンテーションしたり、森川ゼミではこの日のために作成したゲームを展示するなど、趣向を凝らした演出もあり、楽しい交流の場ができていました。



## OB・OG交流会



## 同窓会交流会



# この先生の裏の顔シリーズ

謎の先生の正体は？  
わからなかった！

## 第10回 酒井 雅裕

情報メディア学部 准教授

「もう一つの顔」取材班にまたタレコミがあった。医療情報学部から情報メディア学部に移った酒井先生のことだ。遠くから見てもすぐわかる声のデカイ「赤い」ヤツだ。学生の噂によると、先生の研究室にはブツがたくさんおいてあり、オタ臭がかなりするらしい。われわれ取材班は研究室の近くの階段に張り込み、酒井先生を見張ることにした。なんと！先生はドアを開けっばなしでふら〜とどこかに行ってしまうではないか！これはチャンスだ！

取材班は研究室に潜入を試みた……すると書棚の隅っこに DVD がある。なになに「ジェリー・アンダーソン特撮シリーズ サンダーバード、謎の円盤 UFO、キャプテンスカレット」、その他にも「StarWars」シリーズ、スタンリー・キューブリックの SF 三部作が並んでいる……「だっ、誰だおまえはっ！」「しゅ、取材班ですう」「ゆ、ゆっくりしてってね！！！」

Q：先生は筋金入りのオタみたいですけど……

A：オタとは失礼やな。趣味が「特撮」ゆーだけやん。でもな同世代はみんなウルトラ Q、ウルトラマン、ウルトラセブンを見て育ってるはずや。いわば

同世代にとって「特撮は教養」みたいなもんや。庵野監督だって「ウルトラセブンは日本最高の特撮や」って言うてるやん。

Q：（知らんがな……）。どうして先生はオタ……いや「特撮」が好きになったんですか

A：4歳ぐらいの時、テレビで「サンダーバード」やってたんや。国際救助隊が凄いメカで人助けをするんや。CGなんかあらへんときに、全部モデルと人形で番組つくるんや！そらすごいで！あとな、このジェリー・アンダーソンちゅう人は初めて「スーパー・マリオネーション」って今で言うリップシンクのシステムの人形劇を……

Q：（話長いわ……）なるほど、先生はそれで「特撮」が好きになったんですね。

A：そうやな、TVシリーズでは「宇宙大作戦（StarTrek）」や！その設定集あるで！英語やけどな。1975年頃、丸善の洋書部をお願いして取り寄せてもらった。ここがカーク船長の部屋や。

Q：（やっぱり筋金や……）その後の先生の趣味は……

A：最近は深くは追ってないけど、古典はほぼ見てる気がする。アニメ系はガンダム・エヴァは見てるよ。甲殻とかもね。忘れてるけどな。

Q：「特撮」で見といた方が良い映画はありますか？

A：CGになってからは、それを「特撮」というかは意見がわかれるで。すると見るにしても「レトロ」なものしか対象にならへんし、実験は面白いけど、今時モデルつくって撮影して、そういうの再現するのはどうかね。CGでできるんやったらそれでおもろいもん作ったらええがな。それよりも例えば「インターステラ」や「ダークナイト」シリーズのクリストファー・ノーランとか見る方が勉強になると思うで……

「特撮」について話し出すと無限に話す気配がする。終わりが見えないので取材ノートをここで止めた。取材班は「特撮」熱にあてられてふらふらしながら帰途についたのであった……！





上海海事大学

# Photography

摄影 写真部



*Photography*

摄影 写真部

# 学校法人 電子開発学園 平成30年度決算の概要

平成30年度決算が理事会ならびに評議員会で承認されましたので、その概要についてお知らせいたします。

学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を示す「資金収支計算書」、経営状態を示す「事業活動収支計算書」、財政状態を示す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条および学校法人会計基準第4条に定められた規則に基づき作成したものです。

## 1. 資金収支計算書

平成30年度の収支状況を資金収支計算書により資金の流れを予算と決算で比較します。

### (1) 収入の部

学生生徒等納付金収入で19百万円増加、手数料収入で6百万円増加、補助金収入で66百万円増加、付随事業・収益事業収入で6百万円増加、受取利息・配当金収入で4百万円減少、雑収入で2百万円増加、学費前受金収入で1億31百万円増加しました。収入の部合計は87億41百万円となりました。

### (2) 支出の部

人件費で16百万円減少、教育研究経費及び管理経費で42百万円減少、設備関係支出で2百万円減少、その他の支出で4百万円減少しました。翌年度繰越支払資金は48億24百万円で3億18百万円増加し、支出の部合計は87億41百万円となりました。

## 2. 事業活動収支計算書

平成30年度の事業活動状況を事業活動収支計算書により「教育活動収支」、「教育活動外収支」、「特別収支」の3つの事業活動に区分し、それぞれの収支状況を予算と決算で比較します。

### 「教育活動収支」

#### (1) 収入の部

学生生徒等納付金、手数料、経常費等補助金、付随事業収入で95百万円増加となり、収入合計は39億7百万円で、97百万円増加となりました。

#### (2) 支出の部

人件費で18百万円減少、教育研

究経費及び管理経費で42百万円減少、徴収不能額等で4百万円減少となり、支出合計は37億5百万円で、64百万円減少となりました。「教育活動収支差額」は2億2百万円となり、1億60百万円増加となりました。

### 「教育活動外収支」

(1) 収入は受取利息・配当金が49百万円で4百万円減少となりました。

(2) 支出は借入金等利息が10百万円で、「教育活動外収支差額」は40百万円で、4百万円減少となりました。「経常収支差額」は2億41百万円となり、1億57百万円増加となりました。

### 「特別収支」

(1) 収入は12百万円で3百万円増加となりました。

(2) 支出は23百万円で5百万円増加となり、「特別収支差額」は△11百万円となり、2百万円減少となりました。

「基本金組入前当年度収支差額」は2億31百万円で1億55百万円増加となりました。

「基本金組入額合計」は2億96百万円で55百万円減少となりました。

「当年度収支差額」は△66百万円で2億10百万円増加となりました。

「翌年度繰越収支差額」は6億70百万円で2億10百万円増加となりました。

## 3. 貸借対照表

平成30年度の財政状態を貸借対照表により本年度末と前年度末で比較します。

### (1) 「資産の部」

合計で154億33百万円と前年度末対比で1億18百万円増加しました。

「固定資産」は主に建物が大学の本部棟及び交流センター冷暖房設備・専門学校の教室改修工事等で84百万円増加、減価償却額で1億72百万円減少しました。

構築物が減価償却額で4百万円減少しました。

教育研究用機器備品が大学の実

習室パソコン・iPad・専門学校のノートパソコンの備品購入等で1億4百万円増加、減価償却額で1億7百万円減少しました。

管理用機器備品が減価償却額で4百万円減少しました。

図書が書籍購入等で6百万円増加、退職給与引当特定資産が61百万円増加しました。

ソフトウェアがキャンパスシステムの改修等で10百万円増加、減価償却額で35百万円減少しました。

これにより固定資産合計104億66百万円で18百万円減少となりました。

「流動資産」は49億68百万円で1億37百万円増加し、主に現金預金が1億56百万円増加となりました。

### (2) 「負債の部」

合計で28億51百万円と前年度末対比で1億12百万円増加しました。

「固定負債」はeDCタワー等の長期借入金が92百万円減少、退職給与引当金が63百万円増加、長期未払金が16百万円減少し、合計44百万円減少となりました。

「流動負債」は未払金が1億8百万円減少、学費前受金が42百万円増加し、合計67百万円減少となりました。

### (3) 「純資産の部」

合計で125億82百万円と前年度末対比で2億31百万円増加しました。

「基本金」は119億12百万円で固定資産のうち継続的に保持すると判断されるものの額を示す第1号基本金の組入額が2億46百万円増加、将来取得する固定資産の取得に充てる資産の額である第2号基本金の組入が50百万円増加しました。

今日、私学を取り巻く環境は、学齢人口の減少等により年々厳しくなっています。本学園は、健全な財務体質を維持するために教職員が一致結束して、特色ある教育活動や教育サービスの見直しにより定員確保に努め、また経費節減に取り組み、安定した学校経営を推進する所存です。

1. 資金収支計算書 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

収入の部

(単位：円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	3,153,620,000	3,172,373,034	△ 18,753,034
手数料収入	35,032,000	40,629,356	△ 5,597,356
寄付金収入	5,090,000	5,324,000	△ 234,000
補助金収入	258,627,000	324,576,946	△ 65,949,946
国庫補助金収入	240,110,000	305,525,000	△ 65,415,000
地方公共団体補助金収入	18,517,000	19,051,946	△ 534,946
資産売却収入	180,000	87,713	92,287
付随事業・収益事業収入	286,164,000	292,483,426	△ 6,319,426
受取利息・配当金収入	52,999,000	49,357,446	3,641,554
雑収入	71,861,000	74,348,321	△ 2,487,321
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,246,860,000	1,377,404,242	△ 130,544,242
その他の収入	168,097,000	175,729,815	△ 7,632,815
資金収入調整勘定	△ 1,487,295,000	△ 1,439,384,610	△ 47,910,390
前年度繰越支払資金	4,667,978,000	4,667,978,551	△ 551
収入の部合計	8,459,213,000	8,740,908,240	△ 281,695,240

支出の部

(単位：円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,781,240,000	1,765,338,085	15,901,915
教育研究経費支出	1,006,857,000	980,394,997	26,462,003
管理経費支出	575,382,000	560,072,779	15,309,221
借入金等利息支出	9,730,000	9,728,126	1,874
借入金等返済支出	91,661,000	91,660,000	1,000
施設関係支出	83,987,000	85,410,862	△ 1,423,862
設備関係支出	120,568,000	118,669,645	1,898,355
資産運用支出	165,680,000	165,647,464	32,536
その他の支出	579,538,000	575,728,541	3,809,459
資金支出調整勘定	△ 461,525,000	△ 435,732,813	△ 25,792,187
翌年度繰越支払資金	4,506,095,000	4,823,990,554	△ 317,895,554
支出の部合計	8,459,213,000	8,740,908,240	△ 281,695,240

活動区分資金収支計算書 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

	科目		金額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	3,172,373,034
		手数料収入	40,629,356
		特別寄付金収入	3,335,000
		一般寄付金収入	1,828,000
		経常費等補助金収入	316,498,946
		付随事業収入	292,483,426
		雑収入	72,935,538
		教育活動資金収入計	3,900,083,300
	支出	人件費支出	1,765,338,085
		教育研究経費支出	980,394,997
管理経費支出		559,228,014	
教育活動資金支出計		3,304,961,096	
差引		595,122,204	
調整勘定等		46,125,890	
教育活動資金収支差額		641,248,094	
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入	161,000
		施設設備補助金収入	8,078,000
		施設設備売却収入	87,713
		施設整備等活動資金収入計	8,326,713
	支出	施設関係支出	85,410,862
		設備関係支出	118,669,645
		第2号基本基金引当特定資産繰入支出	50,000,000
		施設整備等活動資金支出計	254,080,507
	差引		△ 245,753,794
	調整勘定等		△ 132,127,968
施設整備等活動資金収支差額		△ 377,881,762	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		263,366,332	

(単位：円)

	科目		金額
その他の活動による資金収支	収入	退職給与引当特定資産取崩収入	54,497,094
		その他の収入	24,718,471
		小計	79,215,565
		受取利息・配当金収入	49,357,446
		過年度修正収入	1,412,783
		その他の活動資金収入計	129,985,794
	支出	借入金等返済支出	91,660,000
		退職給与引当特定資産繰入支出	115,647,464
		その他の支出	18,058,869
		小計	225,366,333
借入金等利息支出		9,728,126	
過年度修正支出	844,765		
その他の活動資金支出計	235,939,224		
差引		△ 105,953,430	
調整勘定等		△ 1,400,899	
その他の活動資金収支差額		△ 107,354,329	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		156,012,003	
前年度繰越支払資金		4,667,978,551	
翌年度繰越支払資金		4,823,990,554	

## 2. 事業活動収支計算書 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科目		予算	決算	差異	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	3,153,620,000	3,172,373,034	△ 18,753,034
		手数料	35,032,000	40,629,356	△ 5,597,356
		寄付金	4,930,000	5,163,000	△ 233,000
		経常費等補助金	252,009,000	316,498,946	△ 64,489,946
		国庫補助金	233,492,000	297,447,000	△ 63,955,000
		地方公共団体補助金	18,517,000	19,051,946	△ 534,946
		付随事業収入	286,164,000	292,483,426	△ 6,319,426
		雑収入	78,771,000	79,881,721	△ 1,110,721
		教育活動収入計	3,810,526,000	3,907,029,483	△ 96,503,483
		事業活動支出の部	事業活動	人件費	1,837,004,000
教育研究経費	1,285,405,000			1,259,401,102	26,003,898
管理経費	619,593,000			603,831,642	15,761,358
徴収不能額等	27,404,000			23,232,822	4,171,178
教育活動支出計	3,769,406,000			3,705,419,440	63,986,560
教育活動収支差額	41,120,000	201,610,043	△ 160,490,043		

(単位：円)

科目		予算	決算	差異	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	52,999,000	49,357,446	3,641,554
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	52,999,000	49,357,446	3,641,554
	事業活動支出の部	借入金等利息	9,730,000	9,728,126	1,874
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	9,730,000	9,728,126	1,874
教育活動外収支差額	43,269,000	39,629,320	3,639,680		
経常収支差額	84,389,000	241,239,363	△ 156,850,363		
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	87,713	△ 87,713
		その他の特別収入	9,410,000	12,314,214	△ 2,904,214
		特別収入計	9,410,000	12,401,927	△ 2,991,927
	事業活動支出の部	資産処分差額	595,000	5,018,903	△ 4,423,903
		その他の特別支出	17,212,000	18,078,736	△ 866,736
		特別支出計	17,807,000	23,097,639	△ 5,290,639
	特別収支差額	△ 8,397,000	△ 10,695,712	2,298,712	
	基本金組入前当年度収支差額	75,992,000	230,543,651	△ 154,551,651	
	基本金組入額合計	△ 351,652,000	△ 296,439,674	△ 55,212,326	
	当年度収支差額	△ 275,660,000	△ 65,896,023	△ 209,763,977	
前年度繰越収支差額	736,378,000	736,377,418	582		
翌年度繰越収支差額	460,718,000	670,481,395	△ 209,763,395		

(参考)

(単位：円)

事業活動収入計	3,872,935,000	3,968,788,856	△ 95,853,856
事業活動支出計	3,796,943,000	3,738,245,205	58,697,795

## 3. 貸借対照表 平成31年3月31日

### 資産の部

(単位：円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	10,465,708,428	10,484,143,750	△ 18,435,322
有形固定資産	6,834,828,175	6,931,653,782	△ 96,825,607
土地	1,725,516,149	1,725,516,149	0
建物	4,206,873,921	4,294,582,522	△ 87,708,601
構築物	49,024,453	53,595,290	△ 4,570,837
教育研究用機器備品	362,500,923	367,491,198	△ 4,990,275
管理用機器備品	31,657,732	34,611,500	△ 2,953,768
図書	455,352,107	450,734,164	4,617,943
車両	3,902,890	5,122,959	△ 1,220,069
特定資産	348,200,135	237,049,765	111,150,370
第2号基本金引当特定資産	50,000,000	0	50,000,000
退職給与引当特定資産	298,200,135	237,049,765	61,150,370
その他の固定資産	3,282,680,118	3,315,440,203	△ 32,760,085
ソフトウェア	234,347,429	259,813,514	△ 25,466,085
有価証券	2,500,000,000	2,500,000,000	0
長期預金	500,000,000	500,000,000	0
その他の固定資産	48,332,689	55,626,689	△ 7,294,000
流動資産	4,967,565,435	4,830,215,159	137,350,276
現金預金	4,823,990,554	4,667,978,551	156,012,003
未収入金	84,370,388	101,191,303	△ 16,820,915
その他の流動資産	59,204,493	61,045,305	△ 1,840,812
資産の部合計	15,433,273,863	15,314,358,909	118,914,954

### 負債の部

(単位：円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	913,977,063	958,255,265	△ 44,278,202
長期借入金	454,100,000	545,760,000	△ 91,660,000
退職給与引当金	336,589,364	272,749,464	63,839,900
長期未払金	123,287,699	139,745,801	△ 16,458,102
流動負債	1,937,281,512	2,004,632,007	△ 67,350,495
短期借入金	91,660,000	91,660,000	0
未払金	424,739,226	532,984,536	△ 108,245,310
前受金	1,377,939,242	1,335,912,615	42,026,627
預り金	42,943,044	44,074,856	△ 1,131,812
負債の部合計	2,851,258,575	2,962,887,272	△ 111,628,697

### 純資産の部

(単位：円)

科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	11,911,533,893	11,615,094,219	296,439,674
第1号基本金	11,558,533,893	11,312,094,219	246,439,674
第2号基本金	50,000,000	0	50,000,000
第4号基本金	303,000,000	303,000,000	0
繰越収支差額	670,481,395	736,377,418	△ 65,896,023
翌年度繰越収支差額	670,481,395	736,377,418	△ 65,896,023
純資産の部合計	12,582,015,288	12,351,471,637	230,543,651
負債及び純資産の部合計	15,433,273,863	15,314,358,909	118,914,954

# 大学主要行事など <2月1日~6月30日>

## ◆◆ 教職員の動向 ◆◆

2月1日付  
《大学職員》  
採用 アドミッションセンター広報室入試企画課 課長補佐 矢埜 博隆

3月31日付  
《教 員》  
退職(定年) 教授 藤井 敏史  
教授 蔵本信比古(4/1付特任教授に採用)  
退職(自己都合) 准教授 諸岡 卓真  
退職(任期満了) 特任教授 長井 敏行  
特任教授 古川 正志  
特任教授 若松 義男  
特任教授 川上 正博  
特任教授 山本 哲二

《大学職員》  
退職(自己都合) アドミッションセンター広報室長補佐 田中 克義  
アドミッションセンター入試企画課長 小松田昭人  
通信教育部事務部主任 赤城恵理子(旧姓繁永)  
退職(任期満了) 事務局次長 村上 力夫  
国際交流・留学生支援課長代理 森 一峰

《法人職員》  
退任 常務理事 光武 松雄  
兼務を解く 東京事務所長・アドミッションセンター長兼広報室長  
山本 徹(法人本部長)

4月1日付  
《教 員》  
就 任 副学長 西平 順  
経営情報学部長 渡部 重十  
研究科長 高井 那美  
通信教育部長 谷川 健  
教養部長 中村 正巳  
先端経営学科長 明神 知  
システム情報学科長 内山 俊郎  
医療情報学科長 高橋 文  
情報メディア学科長 向田 茂  
学生部長 上杉 正人  
就職部長 安田 光孝  
入試部長 福澤 康弘  
情報センター長 中島 潤  
学習支援センター長 長尾 光悦  
保健センター長 佐藤 浩樹

配置換 教授 谷川 健  
(経営情報学部 → 通信教育部)  
准教授 酒井 雅裕  
(医療情報学部 → 情報メディア学部)

昇 任 先端経営学科 福澤 康弘(准教授 → 教授)  
先端経営学科 遠藤 雄一(講師 → 准教授)  
先端経営学科 ジョエル ライアン  
(講師 → 准教授)

採用(特任) 教授 蔵本信比古(医療情報学科)  
採用(新任) 准教授 越野 一博(システム情報学科)  
准教授 伊藤 正彦(情報メディア学科)  
講師 中里 浩介(情報メディア学科)

《大学職員》  
採用 国際交流・留学生支援課 課長代理 西村 勝  
入試広報室 顧問 別所 正一  
入試広報室 入試課 高橋 廉  
学生サポートセンター事務室 学生課 上部 拓武  
通信教育部事務部 似鳥 克馬  
就 任 事務局次長 角谷 有規  
事務局次長 檜物 敏昭  
入試広報室 副室長 富樫 恵一  
兼 務 総務課長 角谷 有規  
入試広報室長 檜物 敏昭

入試広報室 広報課長 檜物 敏昭  
入試広報室 入試課長 富樫 恵一  
アドミッションオフィサー 富樫 恵一  
配置換 入試広報室 広報課 中道 大樹  
(学生サポートセンター事務室学生課)  
学生サポートセンター事務室 就職課 菅原みづき  
(アドミッションセンター広報室)

《法人職員》  
就 任 常務理事 山本 徹(法人本部長)  
法人本部長 石川 弘行(法人事務局長)  
法人事務局長 井上 智雄(北海道情報専門学校)

## ◆◆ 主要行事 ◆◆

◇大 学◇  
2月2日(土)~3日(日) 一般1期入学試験  
4日(月)~9日(土) 冬期集中授業  
12日(火)~16日(土) 追再試験期間  
15日(金) OB・OG 交流会、同窓会交流会  
18日(月) 大学説明会(東京)  
18日(月)~19日(火) 入学前教育プログラム  
20日(水) リサーチ・アドバイザーボード  
24日(日) 入学説明会、大学進学資金説明会  
25日(月) 編入学試験(3次募集)、特別AO入学試験(C日程)  
3月1日(金) FD・SD フォーラム(13:20~211教室)  
12日(火) 一般2期入学試験  
14日(木) 学位記授与式(10:00~講堂)、卒業祝賀会  
18日(月) 企業・病院説明会(13:00~京王プラザホテル札幌)  
22日(金) 教職員送別会(19:30~ホテル札幌ガーデンパレス)  
特別AO入学試験(D日程)  
24日(日) オープンキャンパス  
29日(金) 辞令交付  
学位記授与(3月末卒業者)  
4月1日(月) 辞令交付  
5日(金) 入学式(10:00~)  
6日(土)~11日(木) スタートアッププログラム(10日(水)~11日(木) 新入生宿泊研修)  
12日(金) 前期開講  
27日(土) 月曜授業日  
28日(日) オープンキャンパス  
5月24日(金) 保護者の会役員会(18:15~)  
26日(日) オープンキャンパス  
29日(水)~31日(金) 江別4大学共同企画春の食生活改善運動  
6月6日(木) 学内共同研究成果報告会  
7日(金) 「食と健康と情報」フォーラム  
13日(木) 前期前半授業終了  
14日(金) 全学休講日  
14日(金)~15日(土) 体育祭  
14日(金)~15日(土) 南京大学外国語学院留学準備クラス学部・学科・専攻入学試験、南京大学推薦者編入学試験  
16日(日) オープンキャンパス  
17日(月) 前期後半授業開始  
30日(日) オープンキャンパス

◇大学院◇  
2月8日(金) 大学院入学選抜試験(2次募集)  
27日(水) 研究科委員会  
3月20日(水) 研究科委員会  
4月5日(金) 研究科委員会  
5月14日(火) 研究科委員会  
6月1日(土) 大学院推薦入学試験  
20日(木) 学位論文等中間報告会(兼 北海道情報大学学術奨学生選考会)

◇法人本部◇  
2月14日(木) 理事会・評議員会  
3月4日(月)~3月6日(水) 有限責任監査法人トーマツ「平成30年度期中監査」  
28日(木) 理事会・評議員会  
5月16日(木) 理事会・評議員会  
20日(月)~5月24日(金) 有限責任監査法人トーマツ「平成30年度期末監査」

# 北海道情報大学 令和元年度（2019年度）学年暦

## 8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				(15)	(15)	金(16)
4	5	6	7	8	9	10
	(16)	(16)	(16)	(16)	合同試験	合同試験
11	12	13	14	15	16	17
山の日	振替休日					
18	19	20	21	22	23	24
	夏集中	夏集中	夏集中	夏集中	夏集中	夏集中
25	26	27	28	29	30	31
	夏集中	夏集中	夏集中	追試験期間	追試験期間	追試験期間

3日 金曜授業日

9日、10日 合同試験  
9・10日 AO入試（一部立入制限）  
13日～ 夏季休業期間

19日～28日 夏期集中授業期間

29日～ 追再試験期間

## 12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	(10)	(10)	(11)	(11)	(11)	
8	9	10	11	12	13	14
	(11)	(11)	(12)	(12)	(12)	
15	16	17	18	19	20	21
	(12)	(12)	(13)	(13)	(13)	
22	23	24	25	26	27	28
	(13)	(13)				
29	30	31				

25日～ 年末年始休業期間

## 9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	追試験期間	追試験期間	追試験期間			
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
	敬老の日		STP	(1)	(1)	
22	23	24	25	26	27	28
	(1)	(1)	(1)	(2)	(2)	
29	30					
	(2)					

～4日 追再試験期間

～17日 夏季休業期間

18日 後期STP  
19日 後期 授業開始  
23日 通常授業日

## 1月(2020年)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			元日			
5	6	7	8	9	10	11
	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	
12	13	14	15	16	17	18
	成人の日	(15)	(15)	(15)	(15)	センター
19	20	21	22	23	24	25
センター	(15)	(16)	(16)	(16)	(16)	
26	27	28	29	30	31	
	(16)	合同試験	合同試験			

～5日 年末年始休業期間  
6日 授業開始

18日・19日 センター入試（立入禁止）

28日、29日 合同試験日  
31日～ 春季休業期間

## 10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		(2)	(2)	(3)	(3)	
6	7	8	9	10	11	12
	(3)	(3)	(3)	月(4)	授業休講	学祭
13	14	15	16	17	18	19
学祭	体育の日	(4)	(4)	(4)	(4)	
20	21	22	23	24	25	26
	(5)	秋分の日	(5)	(5)	(5)	保護懇
	28	29	30	31		
	(6)	(5)	(6)	(6)		

11日 授業休講

10日 月曜授業日  
12日～13日 蒼天祭

26日 保護者と教員の懇談会

## 2月(2020年)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
一般1期	一般1期	冬集中	冬集中	冬集中	冬集中	冬集中
9	10	11	12	13	14	15
	追試験期間	追試験期間	追試験期間	追試験期間	追試験期間	追試験期間
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
	天皇誕生日	振替休日				

2・3日 一般1期入試（一部立入制限）  
3～8日 冬期集中授業期間

10日～15日 後期追再試験期間

## 11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					(6)	
3	4	5	6	7	8	9
文化の日	振替休日	(6)	(7)	(7)	(7)	
10	11	12	13	14	15	16
	(7)	(7)	(8)	(8)	(8)	
17	18	19	20	21	22	23
	(8)	(8)	(9)	(9)	(9)	勤労感謝の日
24	25	26	27	28	29	30
	(9)	(9)	(10)	(10)	(10)	

19日 後期前半 授業終了  
20日 後期後半 授業開始

## 3月(2020年)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
			学位記		春分の日	
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

18日 学位記授与式日程

前期 前半授業期間
前期 後半授業期間
集中授業期間
他曜日授業
スタートアップ
学生イベント  
後期 前半授業期間
後期 後半授業期間

ABE



HAYASAKA



KISHI



NAKANO



KAWAUCHIYA



YAMAGUCHI



# ななかまど 編集隊員大募集!

## 一緒にななかまどを作りますか?

大学広報誌『ななかまど』を、一緒に編集してくれる隊員を随時募集しています。学年・学科は問いません。

私たちと一緒にななかまどを作ってみませんか?

興味のある方は、情報メディア学部 杉澤研究室 (133 研究室) までお越しください!

KON



KAWAMOTO



KOHARA



NAKAMOTO



TAKAYAMA



TAMURA

